

# 図書館だより

発行 多可町図書館  
〒679-1133  
多可郡多可町中区糺屋 434-11  
TEL 0795(32)5170  
FAX 0795(32)5171  
http://www.library.taka.hyogo.jp/

## 「短詩系文芸の楽しみ」

八千代川柳教室 笹原 浩

毎日放送テレビの「プレバト俳句」が人気です。毒舌気味の司会者と辛口の先生、妖艶な舞姿で「夢芝居」を歌った役者、元宮崎県知事らがレギュラー出演しています。俳句には初心者の有名人が出演し、夏井いつき先生が順位を付け、添削をするバラエティ番組です。夏井先生の巧みな添削と出演者とのやり取りの中から、元の句が見事に生まれ変わる夏井マジックに、視聴者はこれなら自分にもできるかもと思ってしまう。

私が同じ短詩系の短歌を始めたのは、20代の後半でした。加東郡東条町にあった、短歌グループ「みかしほ」に入っていたいただきました。しかし勤務地が変わり、長くは続きませんでした。その後、片道三時間の列車通勤となり、その時間を利用して始めたのが川柳でした。神戸新聞の「読者文芸」にも投稿してみました。その頃の選者は、時実新子さんでした。始めて間もなく「根」と言う題に投稿した「竹の子の根つ子が残る老い二人」の句が上位に入選し、すっかり夢中になりました。以来細々と作句を続けていましたが、

平成19年9月に「八千代川柳教室」に誘っていただき入会、現在に至っています。神戸新聞の「読者文芸」は毎週月曜日に掲載、多可・西脇在住の方々の活躍が目立ちます。62円のハガキ1枚あれば応募でき、入選すれば紙面に掲載されますが、没になってもだれに知られることなく、次回は頑張ろうと一人で思えばいいのです。多可町図書館には、川柳入門書や解説書がたくさん取り揃えられています。ぜひ1冊手に取って、川柳にも挑戦されてはいかがでしょうか。



## ことばの葉だより

好奇心のかたまり、多趣味な人生

伊能忠敬 編

「日本地図を作った人」で知られる伊能忠敬。しかし地図作りを始めたのは人生の後半からでした。

忠敬は江戸時代中期の1745年、千葉県の上総九十九里浜で生まれました。17歳の時に酒造家・伊能家に入婿し、抜群の商才を発揮して伊能家をもり立てた忠敬は、49歳で隠居。その後天文学と暦学を学ぶため、50歳で江戸に出ました。

測量の旅に出たのは、55歳の時。実は最初は、地図作りが目的ではなく「地球の大きさを知るために、正確な緯度1度の距離を求めたい」という思いからでした。その第1次測量（現在の北海道・根室付近まで）では、費用の約8割が忠敬の持ち出しでしたが、精巧な地図作りの功績が次第に幕府に認められ、のちに国中をあげた事業となりました。69歳まで測量に参加し、次世代のための地図作りに熱中した忠敬は、73歳でこの世を去りました。

計10回、約4万キロを歩き、実測による正確な地図を作った伊能隊。地図には沿道風景や、測量の目標だった山島や岬も描き込まれ、絵画的にも美しい仕上がりです。この伊能図は、明治期につくられた多くの日本図の原型になりました。

第二の人生を、勇敢に新しいボランティア事業に挑戦した忠敬は、まさに「シニア世代の星」であるといえます。没後200年の今年、人生の大先輩の偉業を感じながら、関連する本を読んでみたり、行事に参加してみたりするのはいかがですか。



## 「伊能忠敬・多可の道」プロジェクト 講座生募集!!

### ①「忠敬が使った測量機器を作ろう」

日時：4月14日(土) 13時半～  
場所：那珂ふれあい館  
内容：簡易バージョンの鉄鎖、御用旗などを作ります  
申込〆切：4/11

### ②「測量しながら歩こう」

日時：5月13日(日) 9時～  
場所：多可町図書館集合(小雨決行)  
内容：忠敬が通った町内の道を、4月に作った測量機器を使って一部測量しながら歩きます  
申込〆切：5/10

若者は、大きな夢に挑戦してほしい。

壮年働き盛りの人は、忠敬にならって、一步を踏み出す勇気を持ってほしい。

そして熟年世代は、第二の人生の生き方として、ぜひ忠敬を参考にしてほしい。

—『伊能忠敬の全国測量』より—

## 伊能忠敬に関するクイズです。

I. 歩測にて日本地図をつくった忠敬の歩幅は？  
①59cm ②64cm ③69cm ④74cm

II. 忠敬が正確に測線をしるした下図を各紙にうつすときに使った道具は何？  
①針 ②ガラス板 ③爪楊枝 ④うすい紙

III. 測量によってつくられた地図は大图、中図、小図の3種類あります。そのうち大图を全部並べて日本列島の形につないだ時の大きさは、何枚分？  
①400枚 ②500枚 ③600枚 ④700枚

IV. 伊能図を海外に持ち出そうとして国外追放になった人物は誰？  
①アーネスト・サトウ ②グラバー  
③シーボルト ④ルイス・フロイス

V. 忠敬を描いた小説『四千万歩の男』の作者は？  
①司馬遼太郎 ②陳舜臣  
③藤沢周平 ④井上ひさし

【こたえ】は右下にあるよ

【参考文献】『日本歴史人物伝 伊能忠敬』(ミネルヴァ書房)、『NHKにんげん日本史 伊能忠敬』(理論社)、『BanCal 2017 冬号』、『図説伊能忠敬の地図をよむ』(河出書房新社)、『伊能忠敬の全国測量』(伊能忠敬研究会)

## ③ 図書館まつり

日時：6月2日(土)  
場所：多可町図書館  
内容：これまでの成果の発表、忠敬の生き方についてなど

※いずれも参加費は無料です。

①・②は申込みが必要です。

【こたえ】 I...③ II...① III...②  
IV...③ V...④

# かるた会・百人一首

1月6日(土)

新年恒例のかるた会。“いろはかるた”には、小学3年生までの12人が参加、2つのグループに分かれて熱戦を展開しました。読み聞かせサークル「あいあい」のみなさんが札を読むと、身を乗り出して元気よく札を取っていました。



“百人一首”に挑戦した小学4～6年生の6人は、3組に分かれ、真剣勝負を繰り広げました。読み手が上の句を読み始めるとすぐに、機敏な動きで札を取る姿も見られました。



伊能忠敬

多可の道プロジェクト

伊能忠敬没後 200 年を記念し、「シニア世代の星」ともいわれる忠敬の生き方を学び、多可町とのかかわりを探ろうという『伊能忠敬・多可の道』プロジェクト(多可町図書館、那珂ふれあい館の共催)。そのボランティアスタッフを募集したところ、33 人の申し込みがありました。

## 第1回スタッフ会議 (2/15)

29 人が参加。「サポート・ねっと」の小嶋明代表が「伊能忠敬翁の生涯現役論」、那珂ふれあい館の安平勝利館長が「伊能測量隊と多可の道」という演題で話されました。参加者は「伊能忠敬が多可町を歩いた」という事実には驚きを隠せない様子でした。

また、丹波市での忠敬の足跡をたどった「丹波OB大学大学院2年生8人8色」の皆さんによる事例発表も行われました。歩測で何度も計測したり、当時の測量機器を再現されたり。その熱心な活動に皆感心しました。

※裏面に詳しい講座の案内があります。ぜひ、この機会にご参加ください。



## 図書館見学

みどりこども園

4 歳児：1月10日(水)

5 歳児：1月12日(金)

キッズランドやちよ

そら組、ほし組：2月23日(金)

1月には、みどりこども園の子どもたちが、2月にはキッズランドやちよの子どもたちが来館してくれました。

おはなし会では昔話に耳をかたむけ、大きな絵本に目を丸くしていました。児童書のコーナーでは「この本が好き!」「この本おもしろいよ!」と友だちどうしあちこちで盛り上がっていました。



## 第2回スタッフ会議 (3/3)

14 人が参加。4～6月に開催予定の講座について内容を検討しました。その後、兵庫県の伊能大図のコピーを皆で囲んだり、現役の測量士さんの指導の下、当時の測量を実際に体感したりしました。「すごいことをされているなあ」「伊能さんは地図を作る際、誤差をどうしたのかすごく気になる」といった感想も出され、講座を前にスタッフの意欲が高まってきているのを感じました。



## Book menu

### 『受け月』



伊集院 静/著

文藝春秋社  
ジャンル:小説  
(F イシ)

「夕空晴れて」から始まり「受け月」で終わる、全七編からなる短編集です。かつての直木賞受賞作品ですが、まだ読まれてない方にはもちろん、すでに読まれた方にもあらためて、伊集院静の世界をご堪能していただけたらと思います。

母親として当然の、わが子への単眼的な愛情や期待感が、わが子が通う野球クラブの監督の指導で、複眼的な愛情や期待感へと変わっていく。「夕空晴れて」。

わが子の高卒後の進路が思いもよらない展開となる中で、ふと、自分の親の生き方を追いかえ、人の本当の幸せとは何なのかを深く考えることとなっていく様を描いた「切子皿」。

他五編とも、「野球」を媒体として、人が人に思いを馳せる姿が軽やか、かつ、しなやかな筆致で表現されており、人情の機微に触れることのできる、なんとも言えない温かさや苦み、そして、切なさも味わえます。これこそが伊集院静の世界ですが、それぞれの受けとめかたで、ご堪能ください。(ゆ)

### 『シャーデンフロイデ ～他人を引きずり下ろす快感～』



中野信子/著

幻冬舎  
ジャンル:実用書  
(141 ナ)

シャーデンフロイデとは「誰かが失敗した時に思わず湧き起こってしまう、うしろめたい喜びの感情」のこと。タレントのベッキーさんが、不倫騒動で激しいバッシングを受けたのは、その有名な一例です。

人間の脳は、他人から認められることでドーパミンを大量に放出し、快楽を感じます。匿名で誰かを叩き、多くの賛同を得ることは、最も効率がよいことなのです。そのためにあれだけのバッシングにつながったのかもしれない。

シャーデンフロイデには、既存の集団や社会を守るという一面もあります。「最近目立っているあの人」は、既存の社会を壊そう、変えようとする人。私たちは目立つ人が失敗することを、社会正義だと信じているのです。

自分は違う、と思う人もいるでしょう。しかし「この感情は誰でも持つており、むしろ倫理的である人の方がより強く感じることもある」と筆者は述べています。わたしたちは人間の持つこうした本質について、時には目を向け考え、みることが必要なかもしれません。(あ)

### 『火のくつと風のサンダル』



ウルズラ・

ウェルフェル/著

童話館出版  
ジャンル:児童書  
(K943へ)

チムはもうすぐ七歳になる男の子。自分が組じゅうでいちばん太っていて学校じゅうでいちばんちびなのを、そしてほかの子どもたちがそれをからかうのを、ひどく悲しく思っていました。チムはいつそチムではなくほかの男の子になってしまいたい、と悩んでいるのです。

そんなチムの誕生日に、くつやのお父さんは手作りの赤いくつと、夏休みの徒歩旅行をプレゼントしてくれます。チムは『火のくつ』、お父さんは『風のサンダル』という名をもって、大好きなお母さんを残し一人で気ままな旅に出かけます。くつやおしの仕事をしながら旅するうちに、チムをからかう男の子たちに出会ったり、仕事が見つからず野宿をすることになったりします。いやなことがあるたびに、お父さんは面白くてすてきな話をしてくれ、チムは朗らかな気持ちを取り戻します。

旅の終わり、懐かしいお母さんの待つ家に帰った火のくつと風のサンダル。チムはお父さんとお母さんのもとで、ありのままのチムでいること、その嬉しさに満たされたのでした。(り)



# 図書館だより

発行 多可町図書館  
〒679-1133  
多可郡多可町中区糀屋 434-11  
TEL 0795(32)5170  
FAX 0795(32)5171  
http://www.library.taka.hyogo.jp/

## ことばの葉だより

魔法は一つ誰でも持っている  
角野栄子 編

児童文学作家として「これを読め」といった押し付けがましいものは書きたくない。子どもたちには自由に読んでほしい。読んで読んで読むことで、その人の中に辞書ができていく。それは、生きていく上で大きな力になると思う。  
—『MOE 2018年6月号』より—

将来、橋を造る事を夢見ていた中学生時代を経て、私は大学で土木工学を学びました。しかし地元へ帰ることとなり、卒業後に測量設計事務所勤務になりました。それから現在に至るまで35年余りになります。

幼い頃から伊能忠敬と伊能図には大変興味があり、約10年前に加古川で開催された伊能日本地図の展示を見に行きました。そこで体育館一面に敷かれた地図の上を実際に歩き、伊能忠敬の世界に浸りました。また、体育館の2階に上がり、全体を見た時、地図の詳細・正確さ・精度に感心させられるとともに、その美しさに息を飲みました。

### 「伊能忠敬と私」

測量士 藤井省三

その体験から今回「伊能忠敬・多可の道プロジェクト」のボランティアスタッフの一員として参加し、伊能忠敬の多可の道を巡ること、あらためて忠敬の世界に魅了されました。

現在私たちは、GPS、トータルステーション、3Dレーザースキャナ等々の機器を使用し、簡単に精密に測量することが出来ます。しかしながら伊能忠敬は今から200年も前に、杖先磁石、小象限儀、鉄鎖、梵天及び御用旗を用い、北極星を頼りに55歳から自分の足で日本中を測量して回ったのです。また、現在は関数電卓があり、斜距離から水平距離へと簡単に計算できますが、暦学の本の関数表から計算していたのでしょうか。そして導線法と交角法により図化していたと思いますが、どのように補正したのでしょうか。再測し

たのかどうか等も含め、記録が残っていないので謎のままですが、それも浪漫ですかね。

伊能忠敬は、文化11年(1814年)1月7日午前6時に明楽寺を出発し、多可町八千代区へ入りました。下野間、仕出原を通過し、産坂を越えて中区へ。午前11時頃に中村町に着いて本陣を置いたようです。そして午後には図化作業を行い、夜には天体観測を行っています。翌1月8日には中村町を出発して、鍛冶屋、牧野新町を通過、小野尻峠を越えて氷上へ行ったと日記には残っています。そうなんです。この多可町を伊能忠敬が歩いて測量したという事実が私にとって誇るべき地元の歴史であり、壮大な浪漫なのです。

今夜、私は伊能図をあてにビールをいただきます。



今年、「児童文学のノーベル賞」とも言われる国際アンデルセン賞作家賞を受賞した角野栄子さんは1935年(昭和10年)、東京の下町で生まれます。幼い頃から海の向こうには何があるんだろうなど、珍しいものを見たいという気持ちが強い子どもだったそうです。そしてついに24歳の時、自費移民という形を選択してブラジル行きを決行。約2年間を過ごしました。

帰国後しばらくして、大学時代の恩師から、ブラジルでの経験を描いたノンフィクションの本を出版してみないかという電話がかかってきます。そして書き上げた作品が『ルイジノニョ少年』。角野さん34歳のことでした。こうして作家デビューを果たした後、数々の作品を世に送り出すのでした。

なかでも来年で40周年を迎える「小さなおばけシリーズ」は、娘さんが口にした『あっち こっち そっち』という言葉から誕生したらしく、『魔女の宅急便』の物語もまた娘さんが描いた魔女の絵から始まったのだそうで、『キキとジジ』などのスピノフ作品を、精力的に執筆をされています。

角野さんが長年幼年童話を書き続けているのは、「読み聞かせ」から「自分で本を読む」ことへの橋渡しに大きな役割を持つためだそうです。図書館も暮らしに役立つ本をたくさん揃え、みなさんと本との架け橋になればと思っています。意外な本との出会いが待っているかもしれません。ぜひ、ふらっとお気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。

### 角野栄子さんに関するクイズです。

- I. 国際アンデルセン賞作家賞を受賞した日本人作家は角野さん、上橋さんとあと一人は誰?  
①まど・みちお ②かこさとし  
③谷川俊太郎 ④富安陽子
  - II. 「今日は何を着ようかな」という時、まず最初に決めるポイントは?  
①口紅の色 ②ネックレス  
③メガネ ④スカーフ
  - III. 角野さんが自分の色と決めている色は?  
①オレンジ色 ②イチゴ色  
③レモン色 ④メロン色
  - IV. 中学2年生の時、叔父さんからもらって、一番うれしい贈り物だと思った本のタイトルは?  
①『二十四の瞳』 ②『走れメロス』  
③『南総里見八犬伝』 ④『ビルマの竊琴』
  - V. ドイツには「魔女の一突」という言葉があります。それはどんな状態のことをいう?  
①ぎっくり腰 ②五十肩  
③頭痛 ④こむら返り
- 【こたえ】は右下にあるよ

【参考文献】『MOE』(2018年6月号)、『角野栄子の毎日いろいろ』(角川書店)、『ファンタジーが生まれるとき』(岩波書店)

### 予約ベスト10

期間：2017年12月～2018年6月

タイトル	著者名	予約回数
1 『おらおらでひとりいぐも』	若竹千佐子／著	24
2 『かがみの孤城』	辻村深月／著	16
3 『九十歳。何がめでたい』	佐藤愛子／著	14
4 『銀河鉄道の父』	門井慶喜／著	13
5 『魔力の胎動』	東野圭吾／著	12
6 『ふたご』	藤崎彩織／著	10
7 『たゆたえども沈まず』	原田マハ／著	9
7 『蜜蜂と遠雷』	恩田陸／著	9
9 『大家さんと僕』	矢部太郎／著	8
9 『おちゃめに100歳! 寂聴さん』	瀬尾まなほ／著	8

定番の作家さんからやはり直木賞や芥川賞・本屋大賞受賞作品などが上位にひしめいています。

#### 【番外編】

『頭に来てアホとは戦うな!』田村耕太郎／著もジワジワ貸出にでています。

【こたえ】 I・・・①  
II・・・③ III・・・②  
IV・・・④ V・・・①

## 図書館見学

中町南小1年遠足(4/20)  
松井小3年(5/25)  
中町南小2年(6/7)

今年度も様々な学校の子どもたちが、図書館に立ち寄ってくれています。どんどん図書館を活用してくださいね。職員一同、お待ちしております♪



## 特別おはなし会

5/12

こどもの読書週間にちなみ、パネルシアターなど、いつもと違ったおはなし会を開催しました。17名の親子連れに参加していただき、楽しい時を過ごしていただきました。



図書館 NEWS  
— 4~6月 —  
トライやる・ウィーク  
6/6~10

図書館だよりの  
タイトルロゴを  
書いたよ。



中・加美・八千代の3中学校から各1名ずつ、計3名の生徒が図書館業務を体験しました。期間中には小学生の来館もあり、子どもたちにせがまれて、紙芝居を読む場面も。臨機応変に対応していました。

## 第15回 多可町図書館まつり 6/2(土)

本と人とまち、  
出合いがいっぱい

たくさんのご来館  
ありがとうございました♪

布絵本展示



本のリサイクル広場

特産品販売

おはなし会



透明フィルムで  
つやつやカバー

オープン  
カフェ

竹笛を  
つくろう♪



ミニ縁日



フランス装での  
マイノートブックづくり

## 生き方フォーラム 『伊能忠敬と多可の道』

2月にプロジェクトが立ち上がり、4月には鉄鎖や御用旗などの道具づくり。5月には忠敬が通ったとされる道を歩き、実際に測量しました。

また、中町南小6年生へ出前授業にも行きました。まつり当日は、それらの活動報告や、県内他市町での様々な取り組みについて発表があり、町内外から伊能ファン50人がフォーラムに参加しました。

今年は忠敬没後200年に当たり、全国各地で彼の偉業を再確認するイベントなどが開かれています。教科書に載っていた偉人としてではなく、多可町を歩いた身近な人生の先輩として、彼の生き方を知ることができた、集大成のフォーラムとなりました。



## Book menu



遠藤周作／著  
講談社  
ジャンル:小説  
(Fエン)



本田 健／著  
ダイヤモンド社  
ジャンル:実用書  
(159ホ)



E・ネスビット／著  
福音館書店  
ジャンル:児童書  
(K933ネ)

臨終に際して妻が残した「わたくしは必ず生まれ変わる、わたくしを探し出して」という言葉に捉われた磯辺。空虚な自分が何を求めているのか解らず、むかし自らが棄てた男・大津にその答えを探ろうとする美津子。フランスの神学校に留学するも異端者としてそこを追われ、なお何人をも決して見棄てぬ神を求めインドへ渡った大津。ビルマの死の街道を戦友に助けられ生き抜き、その友が生涯苦しみに続けた理由を知り、打ちのめされた木口。

あらゆる人間が、胸の底に在り続ける思いを携え、ガンジスに向かいます。あらゆる宗教、人種にかかわらず、すべてを救済し飲み込んでくれる大河。ガンジスのほとりには、なまなましい生と死があたりまえに混在します。そこでは、平凡な日常の日々がやがて人生をなしていくこと、しかしそうであると同時に、生活と人生とが根本的に違うということが感じられるのです。深い河は、身も心も、生も死も、そのふところに包摂し黙々と流れ去ってゆくのです。魂の、欲するところへと……。(り)

たくさんのお金を稼いで、大富豪と呼ばれるまでになった敬の祖父は、自分のすべての資産を「奨学財団」に寄付してしまつたという。つまり、祖父の子どもである敬の父親にも、孫である敬にも財産と呼べるようなものを何一つ残さなかつた。

しかし、祖父は敬に9つの手紙を書き、「人生でいちばん大切なものを学ぶ機会」を残してくれる。

それは、孤児であつた祖父が「億万長者」になるまでの80年間に得た「人生のエッセンス」とも言うべきものであつた。

例えば第1の手紙には、「偶然」というものは、この世には存在しない」という書き出しから始まる『偶然』について説明されていた。そこには、屁理屈が書き並べられているわけではなく、誰にでも起きている「偶然の魔法」を自分の人生を飛躍させるために使えなければ、ワクワクするような人生は望めないこと。つまりは人生の大切なエッセンスが書かれてあつた。

この本との出会いが、あなたの人生を変える必然になるかもしれません。(ゆ)

イギリスの、田舎の一軒家に引っ越してきた好奇心旺盛な4人の兄弟。引越越し早々、子どもたちは不思議な体験をすることになります。

それは、家の近くにある、砂利掘り場での出来事でした。世界の反対側までとどく深い穴を掘ろうとした4人は、砂の中で、かたつむりのように長い目を持った、奇妙な生きものを見つめます。「砂の妖精・サミアド」と名乗つたその生きものは、何千年ものむかしから、人間たちにもつかると、1日に1つ、どんなねがいもかなえてきたのだといいます。しかしそのねがいごとは、夕日が沈むまで、という時間制限がありました。

子どもたちは、毎日サミアドに会いに行き、ねがいごとをします。あるときは女の子が「花のように美しくして」とねがったり、またあるときは男の子が「かぞえきれないくらいのお金をだして」とたのんだり。初めは「最上のねがい」だと思ふ4人ですが、毎度目の入りを待ちこがれることになり……。はたして子どもたちは、ほんとうに大切なねがいごとを見つけることができるのでしょうか。(あ)

『深い河』

『大富豪からの手紙』

『砂の妖精』



# 図書館だより

発行 多可町図書館

〒679-1133

多可郡多可町中区糺屋 434-11

TEL 0795(32)5170

FAX 0795(32)5171

http://www.library.taka.hyogo.jp/

## 「本と私」

文庫『もりのなか』こどものとしょかん

主宰 今西茂子

病気で学校を休みがちだった私は、いつも離れの部屋に一人で寝かされていた。当時はまだ家にテレビはなく、一人の時間を埋めてくれるのは、学校から借りてきた本と、頭の中で膨らみに膨らんだ空想の世界だった。そして、元気になる登校しても、教室の中で一人空想の世界に浸っているような女の子だった。私は変な人間かも知れないと、不安に思うようになっていた頃、『赤毛のアン』に出会った。確か小学3年生の頃だと思う。何を見てもどんな状況に置かれても、空想で自分を励まし楽しませるアン。私と同じように

空想ばかりしている子がそこにいた。アンと出会い、私は不安に思っていた心から解放され、自分に自信を持つことが出来た。本が私に生きていく力を与えてくれた初めての体験だった。中学生の頃は太宰治に惹かれ、大人になる事の不安を感じながらも、『斜陽』や『人間失格』を読んでいた。早熟な子どもだったと思う。高校時代は数多の世界文学全集を貪るように読んだ。本はまだ見ぬ異国への扉だった。中でも、『風と共に去りぬ』は時を忘れ夢中で読んだ。物語は、傷つき全てを失ったスカレットが、故郷タラの地に帰ることを決意し、「みんな明日タラで考えることにしよう。…」

明日はまた明日の日が照る」と言う場面が終わる。絶望の中でも前を向いて生きるスカレットの姿は私の憧れとなり、事あるごとに私を力づけてくれた。青春の傷つきやすい時代を、本の世界と共に生き延びたと思う。人生の中で最も多く本を読んだ時期だった。本好きの私は、故郷に図書館をつくりたいという子どもの頃からの夢を叶え、今、田舎町に小さな子どもの図書館を開設している。本が、子どもの心に寄り添い、世界を駆け、励まし、助け、支えてくれると信じている。この小さな図書館が子どもと本との懸け橋の場となれば嬉しい。



## こと は 言の葉だより

物語の声をすくいあげ、  
優雅に形づくる作家

太田 大八 編

1918年(大正7年)、12月に大阪で生まれた太田さん。父の仕事が貿易商であったことから生後間もなくロシアのウラジオストクに行くこととなります。しかし、ロシア革命やシベリア出兵など政変の影響でわずか3年ほどで帰国。小学4年生まで長崎で過ごしました。

「この子は紙とエンピツをもたせておくとおとなしい」と周りから言われていたほど、幼い頃から絵を描くことが好きだったそうで、中学卒業後は、多摩帝国美術学校に進学します。そんな太田さんの現在の職業となるきっかけとなったのが、中学時代の同級生から本の挿絵を描いてみないかといわれたことでした。そこで長年憧れていた挿絵の仕事を始めるのですが、当時、美術家の扱われ方というのがひどく、作者の名前は出るけれど画家の名前は記されませんでした。また、教科書でも改訂されると著者には印税が行くけれども、画家にはこない!そんな時代だったそうです。

そこで画家の著作権を主張しなければいけないと、日本児童出版美術家連盟というものがつくられました。その甲斐あってか、少しずつ画家の権利が認められていくことになります。

代表作『だいちゃんとうみ』や『やまなしもぎ』など様々なイラストを描かれている太田さん。しかし、同じ人の作品かと思うほど技法や手法が多様で、このイラストも太田さん?と驚く作品がたくさんあります。この機会にさまざまな作品を手にとってみてはいかがでしょうか。

絵本は人間が生まれて最初に出会う心の栄養剤です。絵本は時に奥深く、また果てしない広がりをもって機能します。安定、平和を願うなら、ミサイルや戦闘機より、1冊の優れた絵本こそ効果的ではないでしょうか。

— 雑誌『PeeBoo』発刊のことばより —

## 太田大八さんに関するクイズです。

- I. 絵を描くときに欠かせないものは?  
①コーヒー ②音楽 ③お菓子 ④タバコ
- II. 雑誌『PeeBoo』のロゴ、デザインを引き受けたのは誰?  
①杉浦範茂 ②川端 誠  
③長谷川集平 ④長 新太
- III. パリのオルリー空港両替所でお金を出したところ、肖像画の人物と間違われます。その人物とは?  
①野口英世 ②夏目漱石  
③伊藤博文 ④新渡戸稲造
- IV. 太田さんにとって印税契約の第1号となったイラストの仕事は何だったでしょう。  
①『りこうなおきさき』 ②『飛ぶ教室』  
③『二年間の休暇』 ④『たから島』
- V. 『かさ』という作品はある絵本作家の色の使い方とその見事な効果にあこがれたことが発想のもとでした。その作家とは誰?  
①モーリス・センダック ②レオ・レオニ  
③ディック・ブルーナ ④エリック・カール
- 【こたえ】は右下にあるよ

【参考文献】『別冊太陽 絵本の作家たちⅡ』(平凡社)、『紙とエンピツ』(BL出版)、『詩人と絵描き』(講談社)



表紙の人

今西茂子さん

2001年、篠山市に文庫「もりのなか」こどもとしょかんを開設。  
篠山市・加東市・三田市・丹波市等の図書館で絵本、ブックトーク、ストーリーテリングの講師を務める。  
昔ばなし大学再話者協会指導員。  
図書館では今年度読み聞かせ講座の講師としてお世話になっています。

## 今年の読書週間の標語は

『ホッと一息 本と一息』

読書の秋、図書館では「読書週間」(10/27~11/9)にあわせておすすめ本を展示しています。  
この機会にどうぞご覧ください。  
と き 10月7日(日)~11月9日(金)

【こたえ】I・② II・① III・③ IV・① V・②

## ビブリンピック 7/21~8/31

今年も恒例のビブリンピックを開催し、149名の小学生が本を読んでクイズに答えたり、50冊読破に挑戦したりしてくれました。

クイズ達成者は45名、読破達成者は46名。みんな楽しそうにスタンプを押したり、シールを貼ったりする姿が印象的でした。

また、新たに今年度から幼児対象に「絵本を読んでスタンプをあつめよう」を実施。66名の方に参加していただきました。夏休みに親子で楽しい絵本の時間が過ごせたでしょうか。

## 図書館 NEWS

— 7~9月 —

## 読み聞かせ講座 8/23



今の子どもたちは、たとえばユーチューブやゲームといった機器が身近にある環境の中にいて、それはつまり、人を育てる意味で無限の力を持つ本の面白さを

伝えてくれる人間が身近にいないという子育て環境でもある。人間しか人間に育てることができないということからいえば、それは危機的状況であるともいえる。そうではなく、育てる側としての大人は“必ず幸せになるんだよ”との願いを込め、子どもたちに手間暇を惜しまずに良書を読み聞かせることで、無限の力を届けなければならない。それが、子どもたちを人間に育てる道だと教えていただきました。

↓児童書以外にもこんな本が紹介されました。



## 受講生募集のお知らせ

### ①読み聞かせ講座

「子どもと楽しむ絵本の世界」

講師：今西茂子さん

日時：10/18(木) 10時~11時30分

参加費：無料

申込〆切：10/11(木)

### ②「ストーリーテリング講座」(全3回)

講師：飯尾正子さん

日時：10/23(火)、11/20(火)、12/18(火)

10時30分~正午

参加費：無料 定員：20名(先着順)

申込〆切：10/14(日)



## Book menu



野中ともそ/著

光文社

ジャンル：小説  
(Fノナ)

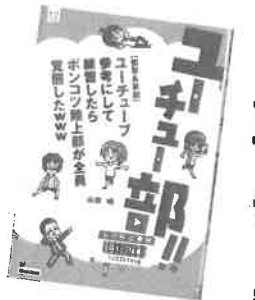


涌井良幸・

涌井貞美/著

KADOKAWA

ジャンル：実用書  
(504ワ)



山田 明/著

Gakken

ジャンル：児童書  
(K913ヤ)

シャッターが目立つようになった商店街の片隅で、約半世紀看板を掲げる、中島クリーニング店。しつかりものの長男の陰で、気楽な人生を歩んできた次男の三十次郎は、30歳を目前にして、家業を継ぐことになりました。

店には、様々な洗濯物が持ち込まれます。汚れは落としてほしいけれど、服についたおじいちゃんとの思い出の灰は取らないで欲しいと頼む女の子。不思議な汚れ物を、次々に持ち込む老婦人……

勤続46年の、長さんこと荷山長門は、染み抜きのプロ。いつ、何がいったか分からない染みを愛おしげに、淡々と抜いていきます。長さんに染み抜きのイロハを教わり、衣類に興味を持ち始めた三十次郎は、洗濯物を通して他者の人生の移ろいを感じるようになっていきます。常に受け身で、人生における「染み」とも無縁だった三十次郎が、生まれ故郷の町で、日々人々のあくに染まり自分も染みだらけになって、ともにこの地味な商店街で生きていければいいと思えるようになる姿に、エールを送りたくなる一冊です。(あ)

街中や家の中、学校や職場、生活のあらゆる場面で、ふと気を付けると、身近なモノのしくみを知らないということの何と多いことでしょう。便利だなと思いつつ使っているもの、また当たり前前にその便利さを享受しているようにも、それをささえているすごい技術が在ることを知らないでいるのです。

はるか上空、建設中の高層ビルの屋上で働くタワークレーン。資材を運び上げるあのクレーンは、誰が、どうやってあのような高所へ設置するのでしょうか。そして地上へ戻す方法は？

フリックやピンチの操作がクールなタッチパネル。駅の券売機や銀行のATM、また家庭でもカーナビやスマートフォンなど、暮らしの中に広く普及しています。画面に軽く触れるだけで機械を操作できるしくみは、いったいどのようなものなのでしょう。

本書は、こうした家電や生活用品、乗り物や文房具など、様々なモノの成り立ちやしくみについての解説書です。図を多用しながらのわかりやすい解説は、これまで不思議に思っていた疑問や謎を解き明かしてくれるでしょう。(り)

桜花中の弱小陸上部を率いる相葉俊介は、ちよつと小柄だけど、小6までは足の速さの際立つモテ男でした。そう、小学生までは。

ところが、桜花中に入學してからは、「大人になる」ということは、現実を知ること、肌で感じる悔しい毎日を送っていました。というのも、彼の周りにはもつと速くて、運動能力の高い連中がゴロゴロいたからでした。特に、県大会出場が常連で、全国大会も狙える超強豪チームのヒーロー集団・桜花中サッカー部には、陸上部員以上に陸上競技にも優れたサッカー部員がわんさかいたのです。中でも、キャプテンの滝沢は勉強もできるし、スポーツも万能、おまけにイケメンで女子生徒のあこがれの存在です。そんなサッカー部の連中に陸上部はナメられっぱなし。とうとう、陸上部の練習場所をサッカー部が使うことを宣言されます。嫌なら、陸上競技の種目でサッカー部と勝負して結論を出そうという挑発付きでした。

もともと運動能力、しかも専門の陸上の種目においてすらサッカー部員に劣る俊介たちです。この勝ち目のない絶体絶命の勝負に、俊介たち桜花中陸上部はどう挑むのでしょうか。(ゆ)

『身のまわりのすごい技術大百科』

『ユーチュー部!!』



発行 多可町図書館

〒679-1133

多可郡多可町中区靴屋 434-11

TEL 0795(32)5170

FAX 0795(32)5171

http://www.library.taka.hyogo.jp/

# 図書館だより

## 「お話を語るとき」

ストーリーテリング神戸会員

飯尾正子

何年も前のこと、東京に用ができたので、ある友人に会うことになった。彼女はいい機会だから横浜の美術館に行きたいと言うので駅で待ち合わせた。彼女は数ヶ月前からご主人の転勤で東京暮らしである。美術館への道を、「はい、右」「ここを真っ直ぐ」とおしやべりしながら誘導してくれる。ビルの中を抜け、エスカレーターを上がり、ウォーキングベルトを通る。「前に来たことあるの?」

と聞くと、来たのは初めてだと言う。驚くわたしに彼女は言った。「わたしは地図や案内書、説明書を見るのが大好きだから何度も何度も見て頭に入れておくの。そしたら割とスツと行けるものよ。」わたしは疑わしそうな顔をしたからだらうか、彼女は続けて言った。「十回や二十回じゃないよ。百回くらいは見えて考えるのよ。」長いつきあいでもその友人のこわさは知っていた。その日は美術館で古代の中国世界に

東京駅で別れた。新幹線のシートに身を埋めながら、わたしはその友人のイメージを起こすかと、自分の目指すストーリーテリングに思いを馳せた。一つのはなしに心を集中させる――略――それが自分にとって実際となってくるまでの十分長い間、集中させておく能力『ストーリーテラーへの道』(第六章より)



## ことばの葉だより

抜群の独創力と天性の包容力

夫婦二人三脚で歩んだ

ももふく まさこ  
安藤百福・仁子 編

世界初の即席麺、チキンラーメンが発売されて60年になります。今では誰もが手軽に手にし食することができるようになりましたが、それを開発するまでには様々なことがあったようです。この即席麺の生みの親、安藤百福さんと、その仕事を支えた妻の仁子さんとはどんな人物だったのでしょうか。

百福は1910年(明治43年)、日本の統治下にあった台湾の地方都市で生まれます。幼い頃に両親を亡くし祖父母の元へ。祖父の実家は呉服屋で、そこでの生活が百福に「商売は面白い」と感じさせ、後に実業家として歩む原点となります。

一方、仁子は1917年(大正6年)に大阪にて3姉妹の末っ子として生まれます。幼少期に父が事業に失敗したため、生活は急転し、苦しい日々を過ごします。しかし持ち前の負けん気で「なにこ」と乗り越えていきます。

さて、そんな二人は昭和19年、仁子の勤め先であった都ホテルのフロントで出会い、翌年、結婚したのでした。何か人の役に立ちたいと、片時もじっとしておれない百福は、次から次へと新しい事業を展開します。しかし、無実の罪で投獄されたり、度重なる事業の失敗により財産をすべて失うなど、どん底も経験します。そんな百福を陰ながら支えたのが妻の仁子でした。天性の明るさと、持ち前の負けん気で、共に困難を乗り越えていきます。共に生き、共に闘った、百福と仁子。ついに世界の食文化を変えた世紀の大発明を成し遂げたのでした。

表紙の人 いいおせいこ 飯尾正子さん

石井桃子/著の『子どもの図書館』に触れたことにより、家庭文庫を開く。大月ルリ子、平松二三代両氏よりストーリーテリングの教えを受け、図書館や小学校、幼稚園等で講座講師やおはなし会を行っている。

図書館では今年度、ストーリーテリング講座の講師としてお世話になっています。

【こたえ】

I...① II...② III...① IV...④ V...②

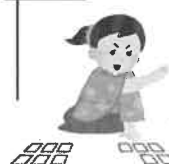
私は48歳から出発した。  
人生に遅すぎるということはない。  
60歳、70歳からでも、新たな挑戦はある。

—『安藤百福 一日一得』より—

安藤百福&仁子さんに関するクイズです。

- I. 売り出し当初のチキンラーメンはお湯をかけて何分だったでしょう。  
①2分 ②4分 ③6分 ④8分
  - II. 百福が散歩の後、子どもたちとよく立ち寄ったお店はある俳優の実家でした。それは誰?  
①秋野暢子 ②いしだあゆみ  
③田中裕子 ④三田佳子
  - III. 百福が学校を卒業後、東石郡守(知事)から声をかけられて就いた職業は?  
①図書館司書 ②博物館学芸員  
③国鉄職員 ④造幣局職員
  - IV. 宇宙食ラーメン「スペース・ラム」が打ち上げられた時に搭乗していた宇宙飛行士は誰?  
①毛利衛 ②向井千秋  
③若田光一 ④野口聡一
  - V. 困った状況に追い込まれても前向きな心で受け止める仁子についた異名は?  
①イノシシの仁子 ②クジラの仁子  
③ザッソウの仁子 ④ヤナギの仁子
- 【こたえ】は左下にあるよ

【参考文献】『チキンラーメンの女房』安藤百福発  
明記念館/編 中央公論新社、『安藤百福 一日一  
得』石山順也/著 KKロングセラーズ ほか



## 「百人一首」参加者募集!!

毎年図書館では小学4~6年生を対象に百人一首に挑戦するかるた会を開催しています。ぜひ、お友達を誘ってチャレンジしてみませんか?

日時:平成31年1月5日(土)午前10時~

場所:多可町図書館 参加費:無料

申込〆切:平成31年1月4日(金)

申込方法:氏名・住所・学年・電話番号を  
ご記入のうえFAXでお申込み  
ください。(0795-32-5171)

※参加者が少ない場合は中止することがあります

講師：今西茂子さん

ごく幼い子どもが、豊かな人間らしい感情を育むには、身近な人があたたかみをもって接し慈しむこと、そして生きた言葉をかけることが肝要です。雑多な機械音に囲まれた環境では、脳は疲れてしまうのです。わらべうたや絵本の心地よいリズムから言葉と出会っていくことの大切さや、親子で読書を楽しむための絵本の選び方など、参加者は熱心に聞き入っていました。



## 伊能忠敬出前授業

10/30

### in 八千代小

八千代小学校6年生50名に、50歳から天文学などを学び直し、地球を一周するほどの距離を歩いて、精密な日本地図を完成させた江戸時代の偉人、伊能忠敬の生き方やその歴史的背景について学んでもらいました。また、現役の測量士藤井省三さんが、測量の仕方やその基礎の勉強、特に算数の大切さについて話されました。その後、運動場で実際に鉄鎖を使ったり、それぞれの歩幅で測量したりと、学びを実体験し、多可町を測量した伊能忠敬を身近に感じられたようです。



## キッズランド八千代3歳児

11/14

### 八千代小3年生 施設見学

キッズランド八千代の3歳児のみんなは、思い思いに絵本を開いては、じっと見入ったり、友だちと見せ合ったりして、ひととき読書を楽しんでくれました。

また、八千代小学校3年生が施設見学で来館してくれました。児童書のほかにも、どんな本がどの場所にあるのか、どのように並んでいるのかなど、メモをとりながら興味を持って見学していました。



## 図書館 NEWS

— 10~12月 —

## ストーリーテリング講座

10/23~

(全3回)

講師：飯尾正子さん

子どもたちは昔話などの「おはなし」を聞くのが好きです。『行きて帰りし物語』といわれるような、大冒険に出かけた主人公が必ず帰ってきて幸せな結末をむかえる話は、子どもたちに楽しみや喜びをもたらします。主人公に同化できる話を素直に語ると、物語の中身が子どもの中へまるごと入るのです。3回の講座を通して、実際におはなしを語り、そして聞きながら、子どもに届くおはなしの選び方や語り方などについて、多くのヒントを得ることができました。



なしの選び方や語り方などについて、多くのヒントを得ることができました。

## クリスマスピアノミニコンサート

12/15

山崎真さんをお招きし、開催されたピアノミニコンサート。大変好評で今回で3回目の開催となりました。絵本に囲まれた空間で、クラシックから身近な音楽まで幅広く演奏していただき、つかの間、時を忘れて、大人から子どもまで、ひと足早いクリスマス気分を味わいました。



## クリスマスおはなし会

12/22

毎月2回、第2、4土曜日に開催しているおはなし会。子どもの読書週間やクリスマスといった際にはいつもとは違った特別おはなし会を開催しています。

今回は参加してくれたみんなに絵本カバーを台紙にしたコロコロ迷路をプレゼントしました。



## 『ぼくは朝日』



朝倉かすみ／著

潮出版社  
ジャンル：小説  
(Fアサ)

読み進めていくと、かつての昭和がどんなよみがえり、相応の時代を生きた方たちにとつては、その懐かしい味わいが読み応えとなっていく本です。

西村朝日は小学4年生の男子で、ほんわか優しい父親と母代りとして家庭を切り盛りしているしつかり者の姉夕日の三人で暮らしています。母親は朝日が生まれてすぐに亡くなっています。

その家族、特に姉の夕日、近所のアリマ電器店のアリマさんやその息子のカズ坊さん、朝日が散髪に通っている溝口理容室で隣り合わせになった少女らとの、なんとも言えない人情の機微を通して、朝日が成長していく姿が見事に描かれています。

単に昭和という過去を懐かしがり、美化するのではなく、今も昔も変わらぬ思いやりや優しさ、そして夢や希望について、あらためて考えるきっかけになると思います。

ぜひ一読願って、今でもあるべき人情の機微を、お確かめくださればと思います。(ゆ)

## 『ぐるぐる山想記』



鈴木みき／著

交通新聞社  
ジャンル：実用書  
(786ス)

人はなぜ、山に登るのでしょいか？ 心地よい汗を流せるから。山頂からの景色が楽しみだから。下山後の一杯がたまらないから……。人それぞれの理由があるのかもしれない。

この本はどこにいても山のことばかり想う登山歴20年の著者が、「山頂を目指すだけじゃない山の18項」について、かわいらしい絵とともに語っています。

登山前日は、期待と不安が交互にやってきて「行くのをやめようか」と考えてしまうという著者。しかし下山した後の、自分の「いい顔」を想像すると「ああ早くそこにたどり着きたい」とも思うのだとか……。

山好きなら「あるある」と、何度も共感できるページにであうでしょう。しんどくて飽きがちな下山を楽しむために、仲間と「恋バナ」や「しりとり」をしたことがある人も少なくないのでは？ また山に行ったことがない人でも、思わずくすくす笑ってしまう、楽しいコラムも満載されています。しばし「山を想う」時間にはたってみませんか。(あ)



## 『ねずみとくじら』

ウィリアム・スタイク／著

評論社  
ジャンル：児童書  
(Eス)

浜辺に住んでいるねずみのエーモスは、海が好きです。エーモスはある日、船をつくり、航海術を勉強すると、あこがれの大海原へと船出します。立派な船乗りになったエーモスは限りない星空を眺めて、生きてここにいるけしつづきのねずみの自分も、生きてひろがる大宇宙の仲間として、宇宙全体をしみじみ親しく感じました。それはあまりにすてきなことで、興奮したエーモスは甲板の上を転がり、海に落ちてしまいます。遠ざかっていく船がやがて見えなくなり、波のまにまに浮かんだエーモスは冷え切って絶望し、ついに溺れた方がらくじゃないか、と考えます。

このとき、水面を割ってエーモスの前にあらわれたのが一頭のくじらでした。くじらは親切にもねずみを背中にのせて泳ぎだしました。航海するうちにふたりはうちとけ一番の親友になります。浜辺に着き別れを告げたあと、ふたりは陸と海でそれぞれの幸せな暮らしに戻りました。ところが長い年月を経てふたりが再会したとき、今度はくじらが瀕死のありさまだったのです……。

離れていても、二度と会えなくても、ずっと仲良しなねずみとくじらの物語です。(り)